

「独立美術協会」は一九三〇年創立以来、営々と幾多の画人をそだて育て育んで来ました。描く仲間たちがお互いに励まし合い、切磋琢磨し、自由で公平、進取の気性にとんだ活発な気風を今日まで一人一人の努力によって培って来たといえます。

独立は会員全員が審査員であり、上下・年齢・経験の差別はありません。このことは出品者にとつても同様で、優れた才能には老若男女、地域や作品の美醜を問わず榮譽を認めています。が、一方で、独立は出品作について付度が無く厳しい会だと言われています。それだけに会員にも出品者にも優れた作家がひしめています。だからこそ、あなたもこの独立展に挑戦する価値があるといえます。

絵画は鏡のように、描く人の心の秘めた内側をおのずと写し出します。技術技能を磨くこと同じように、いや、それ以上に人間としての生きざまや心のありようを磨かなければなりません。技量で本心を一時的に隠すことも可能ですが、年月がたてばいつわりの心は色褪せた姿で画面に出てきます。

皆様の進取の気性にとんだあなただけのすばらしい世界を独立展で拝見出来れば幸せだと思います。是非あなたも独立展で輝いてみませんか。

事務所委員代表 絹谷幸二

# 独立展



第89回独立展 授賞式

独立賞 佐藤 博志



独立賞 西海谷 真由美



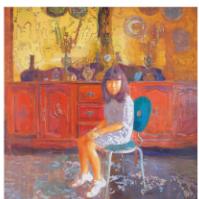
独立賞 河合 規仁



独立賞 田中 宏



独立賞 田口 緒里砂



独立賞 山下 晴道



独立賞 宮澤 悟



海老原賞 大鳥 幹



鳥海賞 佐原 美樹



中山賞 木上 正真



小島賞 広瀬 晴美



松樹賞 渡辺 貞之



齋藤研賞 岩田 泰子



齋藤研賞 長谷 治郎



山田賞 市川 光鶴



山田賞 谷 拓真



SOMPO美術館賞 立田 真



TJ賞 土井 久幸



## 独立美術協会



独立創立会員(日比谷・山水樓) 写真提供:山内滋夫氏

### 「独立展」一九三〇年創立から現在

独立美術協会は一九三〇年十月一日に設立されました。

創立会員は、清水登之、鈴木保徳、川口軌外、小島善太郎、児島善三郎、中山魏、鈴木亜夫、里見勝蔵、高島達四郎、林重義、伊藤廉、林武、福沢一郎、三岸好太郎らで平均年齢二十五歳という若き気鋭の画家たちでした。

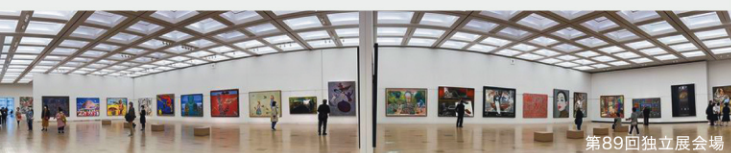
翌年一月には東京府美術館で「第一回独立展」が開催されました。続いて野口弥太郎、須田國太郎、小林和作、海老原喜之助、鳥海青児らが会員として迎えられ、これら先達に影響を受けた若い画家たちによって「独立展」は熱狂的に支持されました。こうして近代美術史に輝く画家集団として確固たる地位を築きあげました。

その後も、画壇の芥川賞といわれた安井賞展への入賞や昭和会展、安田火災美術財団奨励賞等の様々なコンクールや芸術賞での受賞、文化庁在外研修員に選出されるなどの所属画家たちの活躍を例に挙げてもなく、現在の洋画壇で中心的な活動を続けている多くの有力な画家を輩出し、才能あふれる作家が登場し続けています。また、毎年六月を中心に銀座界隈の画廊で独立展出品者の展覧会が頻りに開催され、美術界の話題になっています。

近年の「独立展」会場では具象や抽象というジャンルや概念にとられない作品群、写実的な傾向の作品や立体的な要素を取り入れた抽象・具象の作品、またコンピュータグラフィックスを利用した作品など、現代の絵画表現の多様さと共に自由・独創の熱気にあふれた作品群が展示されています。

「独立展」は、こうした新しく生まれようとする優れた才能には時を選ばず勇気を持って評価と榮譽を称えています。審査は独立美術協会の全会員により公正かつ厳正に行われ、「審査することは、同時に審査されること」という自覚をもって運営し現在に至ります。

今も創立時の精神を引き継ぎ、自由・公平で、温かい連帯感をもって、会員と前途有望な準会員、会友、出品者により毎年十月に国立新美術館で「独立展」を開催しています。



第89回独立展会場